

ばらんす

■編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718・FAX 0287-24-2528

いきいき女性

いい出会い

大田原市

飯館村女性団体交流会

「男女共生を考える大田原のつどい」で飯館村々長菅野典雄氏の講話を聞き、深い感銘を受けて、八月二十一日大田原市女性団体連絡協議会一行三十二名は、阿武隈山中にある飯館村を訪ねました。

研修のはじめは「いきいきいいたていい出会い」という大きな看板のある公民館から始まりました。

公民館々長から「元気ある村づくり、女性元気なら家庭地域も元気」というお話があり、続いて「若妻の翼」参加者四名によるその後の心境と活動の報告がありました。かつて村ではホラ吹き大会があり「夢・希望」の中に海外研修が挙げられました。それが村長や関係者の英断により現実のものとなったそうです。「渡欧によって進路の選択の力そして生きる力をもらった…。自分らしい生き方、自己実現がなされた…。生き方

の勉強をした…。」その後の活動は学校カウンセラー、地域でドライフラワーの指導、農業委員に選ばれ、村に何かあれば集い、活動しているそうです。ひとりひとりの生き方が新鮮に感じられ羨望さえ覚えました。

次は特養「いいたてホーム」で行われました。菅野村長の格調高いそして滋味溢れるお話を伺いました。

「標高約四百八十メートル、山背の冷害の常習の村、今から十四、五年位前までは名も無き山村でありました。福島に飯館村ありと知られるようになったのは、村の一面ではなく十面に眼を向け努力

した結果です。戦後五十年、今成熟社会に入ってどう生きるかが問われています。大人の社会に脱皮する過渡期、今までのことを踏襲していたのでは進みません。民度が上がり価値観も変わりました。これからの時代は旗を振って良くなる時代ではありません。ひとりひとりが輝き、市町村が輝くためには個を尊重し力を合わせる事が大切です。後略」

村としての問題は次の三点が挙げられました。

- ① 家庭（新しい形の夫婦・親子のあり方・福祉）
- ② 交流（国際交流を含めた他の地域との交流）
- ③ 音色（安らぎ、自然環境保護等）

研修最後は特養ホーム見学でした。入所者本意に設計された心優しい建物で入所者はゆったりとした生活を楽しんでいます。帰路、村宮本屋さん「本の森いいたて」を見つけました。村づくり人づくりへの村の思いが一同に強く伝わり、大田原でも女性の海外研修をという思いで胸が膨らんだ次第です。



きもち 出ました みんなの意見

～『男女共用参画社会に関する市民意識調査報告書』から抜粋～

考えよう 生きかた!!

大田原市では、平成八年「大田原市女性行動計画」を策定したが、社会の大きな変化にともない、これまでの施策を見直し、平成十三年度より新しい男女共同参画のための行動計画を作成することになりました。

男女共同参画社会基本法が施行され、新しい人間像をさぐる手がかりとして今回の調査が生かされ、行政、民間、男女が一体となって未来の理想社会を目指して行くことが必要ではないでしょうか。

調査の概要



調査目的／「大田原女性プラン」見直しのための参考資料

調査対象／大田原市民（満20歳以上の男女）

調査対象人数／2,000人（男1,000人 女1,000人）

調査方法／層化別無作為抽出

調査期間／平成12年4月下旬～5月中旬

回収結果／612人（30.6%）

日常生活における夫婦の分担は、家事、育児、介護、地域活動と八項目に分けて調査をしました。まだまだ家事においては、女性の負担が大きいことがうかがえました。しかし家事以外の項目、特に年代別に比較してみると、二十代夫婦の家庭における平等化がかなり進んでおり、今後の家庭内における男女の役割に明るい展望が開いたといえます。

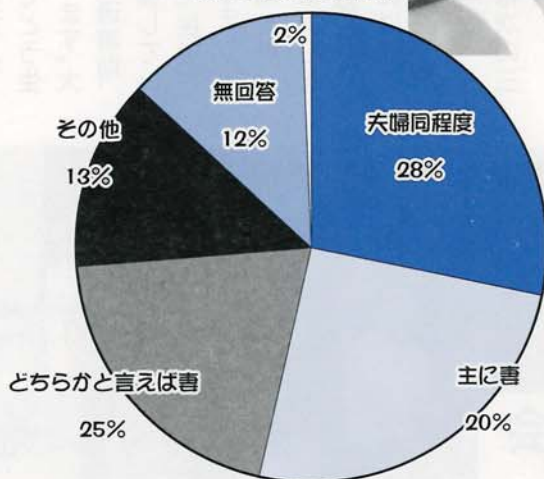


（問）日常生活の夫婦の分担は、どのようにしていますか。
（未婚の方はどのようにしたいですか。）

育児・病人の介護も
夫婦で

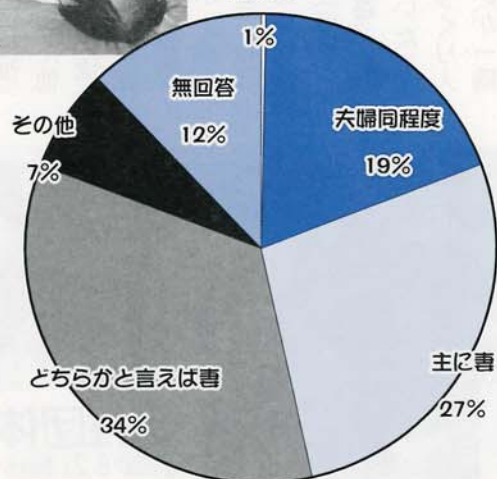
高齢者・病人の介護

どちらかと言えば夫



乳幼児の世話

主に夫

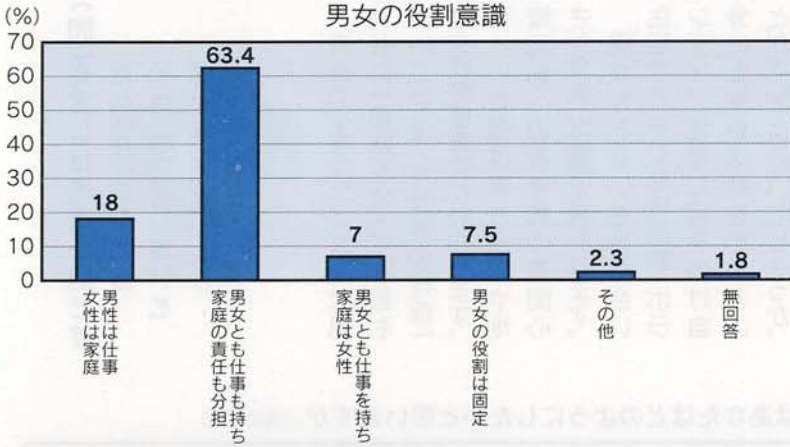


(3)

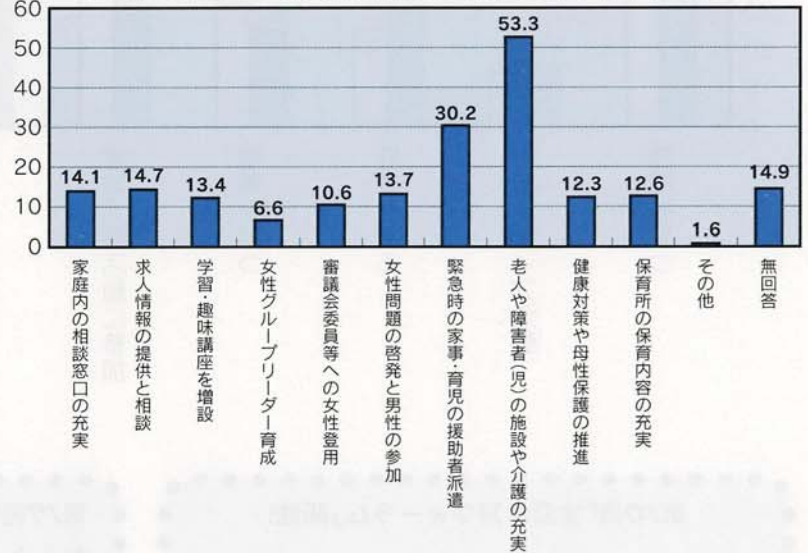
男女の役割意識

(問)「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか?

これは、これまでの固定観念が薄れ、男女共同参画の意識が培われてきたものと考えられます。



(%) 女性の施策の中で何を充実したらよいと思いますか(複数回答)

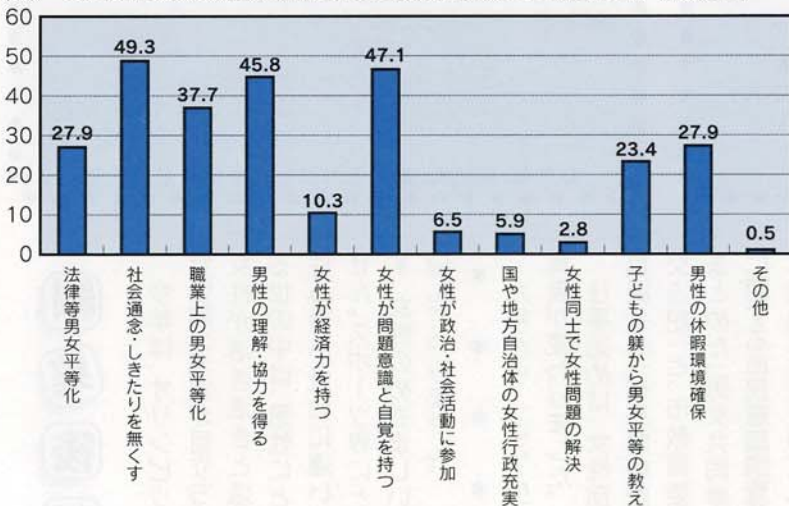


男女平等意識

(問)男女平等実現のため、今後どのような事が必要と思われるですか。

今後は女性自身が問題意識と自覚を持ち、男性の理解を図りながら「男女共同参画社会」の実現をめざす事が必要であると考えられます。

(%) 男女平等実現のため、今後どのようなことが必要か(複数回答)



「男女平等参画社会」をめざして

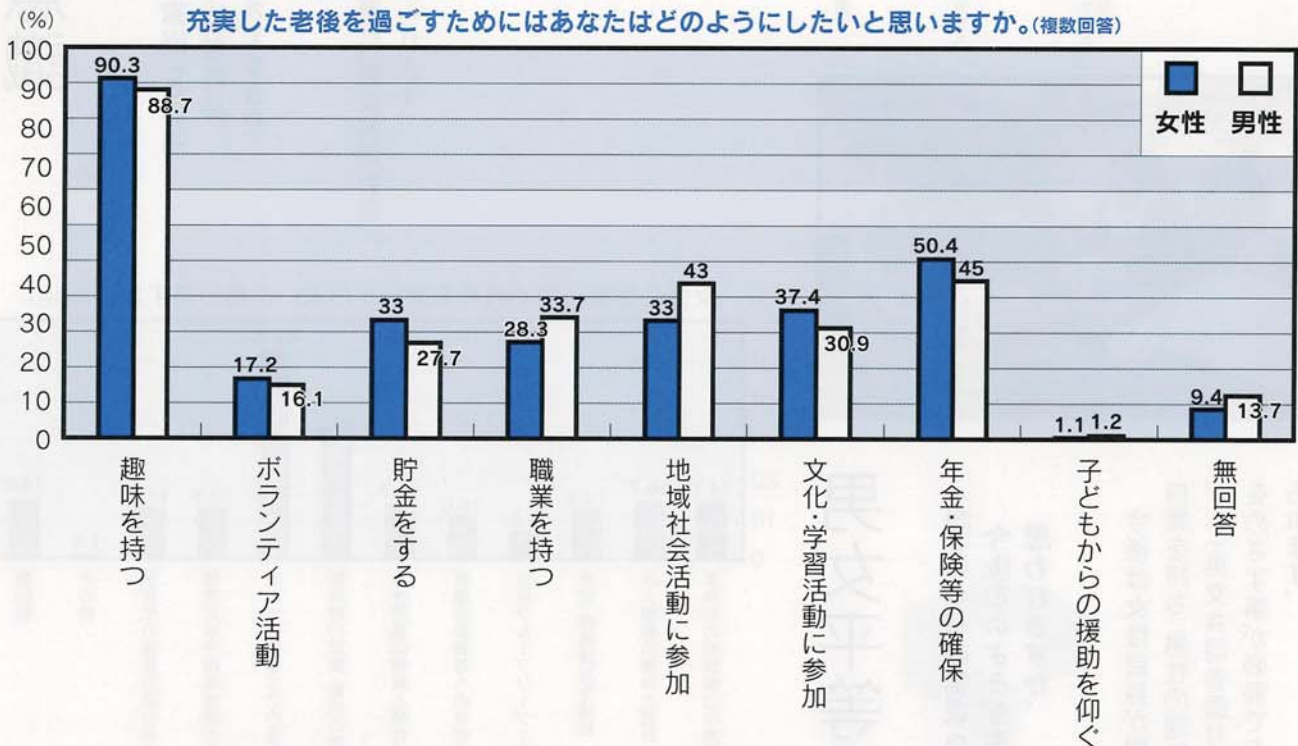
(問)女性の施策の中で何を充実したら良いと思いますか。

これまで家庭の中で一番女性の負担になっていた育児とか介護といった分野の充実が一番望まれていると考えられます。



老後の生活については、男女共に「趣味を持つ」が最も多い。「貯金・年金等の確保」は女性の堅実性がわかります。著しい特徴は奉仕活動や地域活動への若年層の無関心さが今後の課題とされます。男女がお互いを認め合い生活する中で地域活動・ボランティア活動に目を向け自分出来る活動を始めることが大切ではないでしょうか。

(問)充実した老後を過ごすためにはあなたは、どのようにしたいと思いますか。
 思いますか。



第10回「生涯学習フォーラム」開催!

- ★日時 平成12年11月25日(土) 午後1時30分~4時
- ★会場 大田原市総合文化会館ホール
- ★内容 第1部 寸劇と実践発表
 第2部 講演「外国人からみた日本人 おもしろ英会話と日本人」
 講師 アントン・ウィッキーさん

家族みんなでみてお!!

第17回「男女共生を考える大田原のつどい」開催!

- ★日時 平成13年1月20日(土) 午後1時~4時
- ★会場 大田原市総合文化会館ホール
- ★内容 シンポジウム
 ・テーマ (未定)
 ・コーディネーター 日井佳子さん
 ・シンポジスト 菅野泰久さん・千保一夫市長
 日原悠子さん・山田安子さん

女性も、男性も、たくさんの参加を待ってます!

編集委員

- 大久保 愛子
- 杉山 真美子
- 関谷 弘子
- 古谷 芳子



読後のご意見ご感想などお寄せいただきたく、お願いいたします。

* * * * *

九号から、「ばらんす」の編集者が変わりました。仕事始めは、女性団体連絡協議会の「福島県飯舘村との交流記」と、市教育委員会とまとめた「男女共同参画社会に関する市民意識調査報告書」に焦点を絞り皆さんにお知らせすることにしました。

* * * * *
 今年、オリンピックでの女性陣の活躍が目立ちました。女性が生き生きと活躍できる世の中は、男性にとっても住み良い社会に違いありません。スポーツ界にとどまらず、女性のめざましい躍進を望んでやみません。

編集後記